

第2学年4組 生活科学習指導案

1 単元 うごく うごく わたしの おもちゃ

2 目標

- 紙コップや輪ゴムなどの身近にある物を使って遊びやおもちゃを創る面白さや物を動かす自然の不思議さに気付くことができるようになる。
- 作ったおもちゃがよりよく動くように改良したりもっと楽しくなるように遊び方を変えたりして、試行錯誤を繰り返しながらおもちゃや遊びを創ることができるようにする。
- 「1年生に楽しんでもらいたい」という思いを実現するために、友達とアドバイスを出し合ったり、改良したりしながら、みんなで遊びを創り出そうとすることができるようになる。

3 単元計画（14時間）

段階	配時	学習活動	手立て
見通す	1/14	<p>1 これまでの経験を想起し、単元のめあてと見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「遊びアンケート」の1年生の回答を見て、単元のめあてと見通しを確認する。 ○ これまでの自然遊びやおもちゃ作りの経験、1年生の時に参加した「おもちゃ祭り」の経験を想起する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 1年生をしようとして、「うごくおもちゃまつり」をしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近にある物で、おもちゃを動かすしくみを考え、自分が使いたい材料を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手意識をもって取り組むことができるようするために、アンケートを提示する。(ICT) ○ 「うごくおもちゃ」の想像を膨らませるために、身近にある物を手に取れるようになる。
行う	2/14 3/14 4/14	<p>2 個人で作りたいおもちゃを思い浮かべながら使う材料を選び、作る中で、材料や作り方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、図鑑などを参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を選び、個人でおもちゃや簡単な遊び方を考える。 ○ 同じしくみの人と作ったおもちゃを見せ合い、面白いところやもっと工夫できるところを伝え合う。 ○ 試し遊びや見直す活動を繰り返しながら、おもちゃの作りでもっと工夫できるところを改良する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ おもちゃの動きを見返したり比べたりするために、学習者用端末で記録する。(ICT) ○ おもちゃの面白さを再認識し、さらに改良する点を見つけることができるよう、友達からの意見をもらう場面を設定する。
	5/14 6/14 7/14	<p>3 おもちゃごとにグループに分かれ、遊び方や遊び方を伝える方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとに遊び方を話し合い、試し遊びをして、もっと工夫できることを伝え合う。 ○ よりよい遊び方になるように、もっと工夫できることを改良する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な視点から振り返りをすることができるよう、グループ同士の試し遊びを仕組む。
	8/14 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遊び方を伝える方法を考え作成し、つくった表現物を交流する。 ○ 交流して気付いたことをもとに伝え方を考え直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どのように改良するかの見通しをもつことができるよう、工夫したところを交流する場を設ける。
	9/14	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝え方を見直し、よりわかりやすい伝え方になるように、改良する。 	
振り返る	10/14 11/14 12/14 13/14 14/14	<p>4 みんなと楽しく遊んでいる様子を思い描きながら、遊び方やルールを決めて、「うごくおもちゃ祭り」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 試しの「うごくおもちゃ祭り」をして、本番の流れを確認する。 ○ 1年生と「うごくおもちゃ祭り」をする。 ○ これまでの学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分自身の変容や成長に気付くために、単元全体の振り返りの時間を設定する。

4 主眼

おもちゃの遊び方を伝える方法を選択し、表現物を作ったり交流したりする活動を通して、1年生にわかりやすく伝える工夫を考えることができるようとする。

5 本時過程 **自己選択・自己決定の場（つなぎタイム）**

段階	学習活動・予想される児童の反応	手立て（○）と評価（◇）	配時							
導入	<p>1 前時に書いた振り返りを見て、本時めあてを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやって1年生に伝えようかな。 ・せつめい書を書いて伝えるのはどうかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 1年生がわかるように、おもちゃの遊び方を伝える方法を考えよう。 </div> <p>2 どのような説明の方法があるか出し合い、それぞれの方法のよさを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙に書くと、遊びながら見られていいと思います。 ・動画にすると、目で見てわかって1年生もわかりやすいと思います。 <p>3 わかりやすい伝え方を考えるために、学習方法を選択し、全体交流をする。</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>○ グループ内で伝え方を考え作成し、グループ同士でつくった表現物を交流したりグループ内で考え直したりして、伝え方を工夫する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">【方法選択】</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; border: 1px dashed black; width: 33%;">思 い 何回も見ることができるようになると、読んで伝わりそうだな。</td> <td style="padding: 5px; border: 1px dashed black; width: 33%;">どう動かすか、見ながらすると、伝わりそうだな。</td> <td style="padding: 5px; border: 1px dashed black; width: 33%;">いつしょにした方が、わかりやすく伝わりそうだな。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">方法 紙に書いて説明する。</td> <td style="padding: 5px;">タブレットをつかって説明する。</td> <td style="padding: 5px;">お手本を見せて説明する。</td> </tr> </table> <p>【個別と協働の一体的充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように動画を撮ったらいいかわからないから、他のグループの動画を見せてもらおう。 ・他のグループの説明の仕方がわかりやすかったから、もう一度グループで考え直そう。 <p>○ 1年生にわかりやすいように工夫したところを、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真だけだと1年生がわからないときに困るから、一緒にやるようにしました。 <p>4 本時学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私のグループは、紙だけだったけど、他のグループの話を聞いて、お手本を見せるようにしようと思いました。そして、わからなかつたときに、紙を見てもらおうと思います。 </div>	【方法選択】	思 い 何回も見ることができるようになると、読んで伝わりそうだな。	どう動かすか、見ながらすると、伝わりそうだな。	いつしょにした方が、わかりやすく伝わりそうだな。	方法 紙に書いて説明する。	タブレットをつかって説明する。	お手本を見せて説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの気付きや思いを見返すことができるよう、振り返りシートを活用する。 ○ 選択の見通しをもつことができるよう、それぞれの伝え方のよさをとらえる場を設定する。 ○ 遊び方を撮った写真や動画を見返すことができるよう、学習者用端末を活用する。（ICT） ◇ おもちゃの遊びの楽しさが伝わるよう、1年生にわかるやすく伝える工夫を考えることができる。 <p>【思・判・表】</p>	5
【方法選択】										
思 い 何回も見ることができるようになると、読んで伝わりそうだな。	どう動かすか、見ながらすると、伝わりそうだな。	いつしょにした方が、わかりやすく伝わりそうだな。								
方法 紙に書いて説明する。	タブレットをつかって説明する。	お手本を見せて説明する。								
展開			30							
終末		<ul style="list-style-type: none"> ○ 次の時間の見通しをもつことができるよう、工夫したところを交流する場を設ける。 ○ 本時での気付きや思いを次時へつなげることができるように、視点をもとにして振り返る。 	5							